

鳥取市子どもの未来応援計画の概要

～すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける鳥取市を目指して～

【計画の趣旨】

鳥取の将来を担う子どもが家庭の経済状況等により養育環境に格差が生まれ、就学の機会や就労の選択肢が狭まるなど将来を左右されることなく、希望を持って成長し、活躍していけるよう、子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画を策定する。

【計画の位置付け】

「第10次鳥取市総合計画」（平成28年4月策定）、「鳥取市子ども・子育て支援事業計画」（平成27年3月策定）、「鳥取市教育振興基本計画」（平成28年3月策定）における基本的な考え方を基に、「子どもの貧困対策」の観点から必要な施策をとりまとめた推進計画として策定する。

【計画期間】

平成29年度から平成33年度までの5年間

【現状と課題】

- 生活保護世帯の子どもや就学援助を受けた児童生徒の数は増加傾向にある。
- 子どもにとって相談者が多いことや居場所があることが、生活の満足感や自己肯定感を高めることに影響している。
- 子どものための世帯全体への包括的支援を行うための相談支援体制が必要である。

【具体的な取組】

1 育ちと学びの保障 ①妊娠期からの切れ目のない相談支援 ②安心して子育てできる環境づくりの支援 ③学校と家庭・地域の連携 ④家庭の教育力向上のための支援	2 生活基盤の安定 ①子育て世帯への経済的支援 ②保護者への就労支援 ③困難を抱える若者の自立に向けた支援 ④ひとり親家庭への支援
3 地域社会とのつながりと居場所づくり ①こども食堂や学習支援等を包含した多角的居場所の拡充 ②地域で子どもを守り育てる環境づくり	4 子どものための包括的支援の拡充 ①子どものための世帯全体への包括的支援 ②保健・福祉・教育・雇用等の連携 ③支援団体・関係機関等のネットワークづくり

【達成目標】

目標項目	直近の現状値	目標値（H33年度）
妊娠届出者に対する面接を行った割合	97.1%（H27年度）	100%
スクールソーシャルワーカーの配置人数	5人（H27年度）	10人
「将来の夢や目標を持っている」と答える子どもの割合	小学6年生 84.3% 中学3年生 70.5%（H28年度）	小学6年生 86.0% 中学3年生 72.0%
不登校児童生徒の出現率	小学校 0.6% 中学校 3.6%（H27年度）	小学校 0.3% 中学校 2.5%
こども食堂の設置箇所数	4箇所（H28年度）	17箇所 （中学校数と同数）
生活保護世帯の子ども的高校進学率	94%（H27年度）	95%
生活保護世帯の子ども的高校卒業後の進路決定率	83%（H27年度）	88%

【計画の推進体制】

- 鳥取市子どもの貧困対策推進庁内連絡会において、PDCAサイクルを取り入れ進行管理を行う。
- 支援に関わる人々の人材育成と地域ネットワークの構築を図る。
- 子どもの貧困に関する必要なデータの収集や調査を実施する。